

I プランの性格

海部地域プランは、「食と緑の基本計画2020」に掲げる目標を実現するため、地域の特色と実情を踏まえた重点的な取組目標の設定と達成のための実践計画として策定する。目標年度は2020年度とする。

II 重点的取組と目標

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

- 1 あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上
(目標)
①新技術・新品種の本格的導入 5年間で5件
- 2 マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大
(目標)
②戦略作物の作付比率の維持・向上
5年後19%を維持
- 3 意欲ある人が活躍できる農業の実現
(目標)
③新規就農者の確保 5年間で60人
④担い手への農地集積面積
5年後に3,483ha
⑤農地や農業水利施設等の整備・更新面積
5年間で3,174ha
- 4 食品の安全・安心の確保と環境への配慮
(目標)
⑥食品表示遵守状況調査の計画実施
毎年40件



2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

- 1 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
(目標)
⑦「いいともあいち運動」ネットワーク会員・推進店の新規加入 5年間で20件
⑧小学生等を対象とした花育教室の開催
毎年3回
⑨小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催
毎年7回
- 2 食育の推進による健全な食生活の実践



3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

- 1 災害に強く安全で快適な生活環境の確保
(目標)
⑩農村地域の防災・減災対策面積
5年間で1,989ha
- 2 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮
- 3 農林水産業を核とした元気な地域づくり



III プランを達成するための推進体制

海部地域推進プランを達成するため、市町村、農林水産業関係団体、生産者団体及び消費者団体等並びに県関係機関で構成する「食と緑の基本計画海部地域推進会議」において、施策を総合的かつ計画的に推進する。